

発表時にコメントがあった命題などを整理する。

事実 0.1 (確率測度の一致と確率密度関数の一致 (up to a positive scalar)). X を可測空間、 μ を X 上の σ -有限測度とする。このとき、 μ に関し絶対連続な X 上の確率測度 p_1, p_2 に関し、次は同値である:

- (1) $p_1 = p_2$
- (2) $\exists c > 0$ s.t. μ -a.e. $x \in X$ に対し、 $\frac{dp_1}{d\mu}(x) = c \frac{dp_2}{d\mu}(x)$

□